



## リーダーを目指して

教務主任 柝澤 誠

9月15日～16日に、5年生の自然体験教室が行われ、妙高に1泊2日で行って来ました。

雄大な自然の中で5年生の素晴らしい成長を見ることができました。特に、私の心に残っているのは、体験活動中の子どもたちの変化です。1日目に行った「妙高アドベンチャー」では、みんなで成功するよりも自分が楽しむことに関心が向いている様子が、最初の頃には多く見られました。しかし、プログラムを進めていく中で、友達を思いやる姿が見られるようになってきました。2日目の源流体験では、源流を上っていく中で、友達同士で助け合っていく様子が随所に見られました。子どもたちの心の中に確かな変化が生まれ、友達同士の関わり方により変化が見られました。



また、キャンプファイヤーは、大変盛り上がり、子どもたちのエネルギーを感じることができました。妙高自然の家の所員さんからも「あいさつがよく、素直でとても気持ちのよい子どもたちですね」とお褒めの言葉をいただきました。準備から一生懸命頑張ってきた子どもたちの様子を思い浮かべ、大変うれしく思いました。

出発前に5年生と「自然体験教室の成功」について確認をしました。子どもたちからは、「あいさつ」「礼儀正しく」「メリハリをつける」「楽しむ」など様々な言葉が出てきました。そして、自然体験教室の子どもたちの素晴らしい姿で実現することができました。しかし、学校行事としての自然体験教室は、当日だけでなくその後も大切な学びの場となります。自然体験教室で学んだ姿が、学校生活や家庭などの日常生活で見られるように、5年生にはぜひ頑張ってもらいたいです。

自然体験教室は、5年生が来年度の学校のリーダーとしての成長を刻む第一歩です。これからは様々な経験を重ねていく中で、学校を支えてくれるリーダーとしてたくましく成長していくことを願っています。

私たち学校職員もたくましく成長していく子どもたちに寄り添い、精一杯励まし、支えていきます。

# 5年生 妙高自然体験教室に 行ってきました

9月15日(水)～16日(木)

## 自分の成長

ほくは、3つのことを学びました。1つ目は、あいさつです。あいさつをすると、自分も相手もよい気持ちになります。2つ目は、5分前行動をすることです。おくれると、自分にもみんなにもめいわくがかかります。3つ目は、メリハリをつけることです。「やるときはやる。遊ぶときは思い切り遊ぶ。」これをすると楽しく安全に行動できます。妙高でこの3つのことをやってみたら、巻北小のリーダーである6年生に一步近づけたと思いました。

## アニメみたいな話

「この時がずっと続けばいいのに…」  
この言葉は、楽しすぎるアニメにしか起きないと思っていました。キャンプファイヤーが盛り上がっているとき、このときが一生続けばよいと思ってしまいました。みんなが本気で盛り上がっていて楽しかったから、そういう気持ちになれたのだと思います。みんなが本気でやることで、こんな気持ちになるなんて知らなかったです。何事も本気でやっていきたいと思いました。



## 妙高で楽しかったこと

妙高アドベンチャーが楽しかったです。最初は、毛がついたボールのキャッチボールや全員ジャンケンなどの簡単なことでした。だんだんと、丸太の上に上がってバランスを取ったり、シーソーでバランスを取ったりするようなアスレチック的で協力しなくてはならないミッションになりました。中でも印象に残っているのは、ターザンロープです。何回も失敗しましたが、こつがつかめてあきらめずにチャレンジし成功できました。たくさんの友達と協力できてよかったです。

